

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防無線施設整備事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	片瀬 章博			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	現場活動を行う消防職員	意図	災害現場等にて消防隊または隊員が詳細な連携を図ることにより災害での被害を軽減すること。
事業内容	119番通報から火災・救急・救助等の通報を受け、千葉北西部消防指令センターにて出動を指令した後、各出動隊間において迅速かつ確かな情報を提供するための署活動無線機器整備であり、適正な維持管理等を行うことで昼夜問わず市民に対するサービス向上を図るものである。			
事業開始から現在までの状況変化	電波法関係審査基準の一部改正により、平成28年6月1日午前0時にアナログ無線（150MHz帯）が使用できなくなり、災害現場等で指揮命令系統の確保や情報の伝達が困難となった。これにより、新たにアナログ無線による署活動系無線機（400MHz）の整備・運用を開始したものの。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①							
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	災害現場における適切な情報伝達速度の確保ができる。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成27年12月に整備完了、同月から運用開始。		
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				5,613,000			
事業費(b)(円)				4,860,000			
うち一般財源				4,860,000			
職員給与費(c)(円)				753,000			
人役・職員(人)				0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	VI 縮 小 （改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	署活動系無線機（400MHz）を活用し、複雑多様化する災害現場において有効な情報伝達等を確保する。	③取組の課題	署活動系無線機（400MHz）の取り扱い習熟度を上げる。
②今年度(H27)に実施した取組	署活動系無線機（400MHz）を活用し、複雑多様化する災害現場において情報伝達等を行った。	④今後の改善計画	新規採用職員等による無線運用訓練を行う。